

第21回 椋鳩十児童文学賞 受賞作品決定

《受賞作品》 にしがき ようこ 作 『ピアチェーレ 風の歌声』

第21回 椋鳩十児童文学賞の選考委員会が平成23年3月24日(木)に開催され、受賞作品は、にしがき ようこさんの『ピアチェーレ 風の歌声』(出版社:株式会社 小峰書店)に決定しました。

椋鳩十児童文学賞は、鹿児島市が市制100周年を記念し、日本を代表する児童文学者 椋鳩十氏の業績を永く顕彰するとともに、若き児童文学者の発掘と児童文学の発展に寄与するために創設したもので、これまでの受賞者の方々は文学界においてそれぞれ活躍されております。

受賞作品決定をうけて、5月10日(火)に鹿児島市・城山観光ホテルで授賞式及び交流会を、6月8日(水)に東京・都市センターホテルで東京交流会を開催いたします。

いずれも、森博幸鹿児島市長をはじめ、選考委員である、たかしよいち委員、那須正幹委員、西本鶏介委員、三木卓委員など、多くの方々の参加を予定しております。



●作者プロフィール

にしがき ようこ (本名 川崎 洋子)
1954年(昭和29年) 愛知県生まれ 56歳 女性
職業: 化学系特許抄録者
住所: 東京都青梅市在住
略歴: 玉川大学を卒業後、同大通信過程にて幼稚園免許取得。
2000年、毎日児童小説コンクール最優秀賞受賞。現在に至る。

●受賞作品の紹介

嘉穂は13歳。祖父母の家に弟の穂高と暮らす。母は、嘉穂がまだ幼い頃、弟を産むと急逝した。父は、母の死後、結婚し、いま別の家族がいて、嘉穂、穂高の姉弟とは離れて暮らしている。嘉穂は父との絆を大切に思っている。が、祖父は、自分の息子、つまり父を許していない。そんな自分の状況を嘉穂はしっかりと受けとめて、明るく生きている。嘉穂は自分の立っている場所、生活を何かの言い訳にしたりはしない。泣くときは、心のなかで泣く。ひとには泣くところは見せない!

そんな嘉穂が、歌にであう。自分の、自分だけの声をだすことで、自分を表現する。自分の声を自分の想う風にのせてだす。その喜びを知る。友達に誘われ、不思議な縁でうけた音楽のレッスンで「ピアチェーレ(喜びとか、音楽用語で自由に、という意味)」という言葉を知る。嘉穂は幼い頃聴いた母の歌声を、そのぬくもりを思い出す。そして、自分の人生の一步をふみだす。

※取材については、(株)小峰書店 編集部 小林様(電話 03-3341-0608)をとおしてお願いします。

■ 椋鳩十児童文学賞授賞式及び交流会(鹿児島)

日 時: 平成23年5月10日(火) 授賞式 11:00~12:00 交流会 12:15~13:15
会 場: 城山観光ホテル(鹿児島市新照院町41番1号)

■ 椋鳩十児童文学賞東京交流会

日 時: 平成23年6月8日(水) 18:00~20:00
会 場: 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2丁目4番1号)

※ 関連HP: <http://www.city.kagoshima.lg.jp/> (鹿児島市ホームページ)

お問合せ 鹿児島市かごしまプロモーション推進室 東京分室

TEL 03-5226-5040(直通) Fax 03-5276-7150 Mail kpromo05@city.kagoshima.lg.jp